

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・合唱、合奏を楽しみ、行事にも参加できるようになった。
- ・友達の表現のよさに気付くことができる児童が増えた。

(2) 課題

- ・鍵盤ハーモニカやリコーダーの学習において、タンギングや運指に課題がある児童がいる。
- ・音楽の特徴や感じたことを自分の言葉で考え、表現する活動では個人差が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身体表現やリズム遊びを取り入れ、リズム感を養う。 ・<u>鍵盤ハーモニカでは、旋律を音名や指番号で歌い、基本の定着を図る。</u> ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・列ごとの演奏や授業内の発表の中で、友達の表現や工夫のよさに気付かせる。 ・<u>即興的な表現から音楽を特徴付けている要素を結び付け、そこから創意工夫を想起させるようにする。</u>	・<u>身体表現を取り入れて、楽しく活動を行えるようにする。</u> ・クラス内や学習発表会等、<u>発表する機会に向けて目標をもたせる</u>ことで、活動意欲を高める。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・<u>基礎的な奏法に時間をかけて指導したり、視覚支援や体感を重視した指導を取り入れたりすることで、基本の定着を図る。</u> ・ステップを細かく設定し、達成感を積み重ねられるようにする。 ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・グループ活動や授業内の発表の中で、友達の表現のよさに気付かせる。 ・イメージや即興的な表現から<u>音楽を特徴付けている要素を学ぶ題材を設定し、要素の働きを定着させた上で演奏の工夫を考えさせる</u>ようにする。	・児童が意欲的に活動できるよう、聴きなじみのある楽曲や児童の<u>実態に合う楽曲を題材とする</u>ことで興味・関心を広げていく。 ・クラス内で<u>発表する機会をつくり、目標を設定させる</u>ことで活動意欲の向上を図る。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・<u>基礎基本の定着を図るとともに、曲想表現に必要な技能を高める。</u> ・ステップを細かく設定し、達成感を積み重ねられるようにする。 ・捉えさせたい特徴がはっきりと表れている教材を選択する。	・グループ活動や授業内の発表の中で、友達の表現のよさに気付かせる。 ・<u>音楽を特徴付けている要素を揭示し、その中から自分で要素を選択した上で、演奏の工夫を考えさせる</u>ようにする。	・<u>様々な曲想の楽曲を題材とする</u>ことで、演奏できる音楽の幅を広げていく。 ・クラス内や学年間で<u>発表する機会をつくり、目標を設定させる</u>ことで活動意欲の向上を図る。